

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科

戸田隆夫



日本国際学園大学
JAPAN INTERNATIONAL UNIVERSITY

目次

教育の責任	1
1. 何を担当しているのか.....	1
2. 担当科目	1
教育の理念	2
1. グローバルな視点を持つ学生の育成	2
2. 主体的な学びの経験 ～「教わる」から「学ぶ」へ～	2
教育の方法	2
1. アクティブ・ラーニングを取り入れた講義	2
2. 国際社会の実態を踏まえた講義	2
教育の成果 および 今後の目標.....	2

教育の責任

1. 何を担当しているのか

グローバル・スタディ、国際コミュニケーション等、国際社会を見る目を養うための基礎的な教養科目を担当。

2. 担当科目

現在（2025 年度現在）の担当科目とその概略は以下のとおりである。

科目名	対象 学年	受講 人数※	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
グローバル・スタディ入門	1		講義	選択	
グローバル・スタディ特論 A	2	9	講義	選択	
国際コミュニケーションの基礎 1	2	9	講義	選択	
国際コミュニケーションの基礎 2	2	9	講義	選択	

※受講人数は過去の実績による平均受講人数

教育の理念

1. グローバルな視点を持つ学生の育成

激変する国際情勢と複雑化する地球規模の課題に対し、地球市民として関心を持ち、広い視野から日本と世界の行く末を考察することのできる人財の育成を目指す。

2. 主体的な学びの経験 ～「教わる」から「学ぶ」へ～

聴いたことを書き留める、言われた課題をこなす、問われたことについて答えようとする、という旧来の学習態度に留まることなく、学生自らが主体的に考え、課題をみつけ、自ら問いを立て、学びを深めていく、というプロセスを重視し、それらを通じて、学生が、主体的に学ぶという経験を積む。

教育の方法

1. アクティブ・ラーニングを取り入れた講義

講義では、常に双方向性を重視し、学生には、知識を授けるのではなく、学生自らが考え、議論を通じ、個々のテーマに対する知見を深めていくことを重視する。

講義のメインテーマに対し、学生自らが、具体的な課題/切り口を設定し、これについての発表や議論を主体として講義を進める。

2. 国際社会の実態を踏まえた講義

国際社会における担当教員の豊富な経験を活かし、理論や学説の紹介にとどまらず、国際社会の実態、日本と世界との実際の関わりの中で現出してきたさまざまな事象から、国際社会を見る目を養う。

教育の成果 および 今後の目標

(2025 年度の講義実施結果を踏まえ作成)

以 上